

国際交流員ダニエルの

KANGA  
KOURYUU

カンガ交流



## かわいい「悪魔」が住む国

オーストラリア大陸には多種多様な生き物がいます。中でも、お腹にある袋で子どもを育てるカンガルーやコアラなどの有袋類は特に有名です。世界の現存する有袋類の約7割はオーストラリア本土やタスマニア州、パプアニューギニアなどに生息し、小さくて可愛い「ピグミーポッサム」から、大きくて筋骨たくましい「アカカンガルー」まで、さまざまな有袋類がいます。今回は、オーストラリアのタスマニア州に住む有袋類の「タスマニアデビル」と、それに関するニュースを紹介したいと思います。どうぞ、楽しんで読んでくださいね。

▶オーストラリア本土の南にある「タスマニア島」



コアラなどの有袋類は特に有名です。世界の現存する有袋類の約7割はオーストラリア本土やタスマニア州、パプアニューギニアなどに生息し、小さくて可愛い「ピグミーポッサム」から、大きく

### なぜ「デビル」と呼ばれるの？

タスマニアデビル（略称：デビル）の体長は、しっぽまで含めると約90cm、体高は約30cmで、黒と白の体毛で覆われています。また、比較的がっしりとした体型で、クマにも少し似ています。現存している中では世界一大きな肉食性の有袋類で、昆虫や小さな動物を食べます。

デビルは大きい頭を持ち、とても強い顎と鋭い歯でエサを食べます。また、エサを食べるときは複数のデビルが集まり、喧嘩になることがよくあります。怒って牙をむき、すさまじい唸り声をあげる様子を見たヨーロッパからの入植者が、「Tasmanian Devil（タスマニア州の悪魔）」という名前を付けました。



▲タスマニアデビル

### 絶滅の危機から救うために

オーストラリアの本土に生息していたデビルは、一説によると野生化した犬「Dingo（ディンゴ）」の影響な

## オージー・スラング・タイム

オーストラリアのスラングを学ぼう



"Yaffler"

読み方 「ヤッフラー」

意味 「口数が多い人、無意味な話をする人」

「Yaffler」はタスマニア州の人が使うスラングで、口数が多い人や長話をする人のことを指しますが、「フレンドリーでおしゃべりな人」というような軽い意味でも使われます。また、犬やオンドリなどよく鳴く動物のこともYafflerと呼ぶことがあるそうで、もしかしたら、オーストラリアに住むタスマニアデビルも、Yafflerと呼ばれているかもしれませんね。

どによって約3千年前に絶滅したと考えられ、生き残った個体はタスマニア州に限られてしまいました。さらに、西暦1800年ごろにはヨーロッパからの移民に駆除され、デビルの数は大きく減少することとなりました。なお、同時期に駆除の対象となったフクロオオカミは、残念なことに1936年に絶滅してしまいました。

その後、政府はデビルの減少を食い止めるため、1941年に保護法を制定しました。デビルの保護事業も複数立ち上げられ、個体数は徐々に増えていきましたが、1996年ごろからデビル特有の伝染病がまん延し、個体数が大きく減少しました。

デビルは2度目の絶滅の危機に瀕していますが、国の保護の強化や一部のデビルが病気への抗体を持った（詳しくはニュースサイトへ）ことで、絶滅を免れています。また、国内の自然保護団体「Aussie Ark（オージー・アーク）」は9年前にデビルの繁殖プログラムを設立し、保護活動を行ってきました。そして今年、オーストラリア本土にある鳥獣保護区に26匹のデビルを放し、GPS付きの首輪やカメラで様子を見守っています。

オージー・アークをはじめ、多くの人の協力によって守られている「タスマニアデビル」。3千年前のように、オーストラリア本土で見られる日が来ることを私も楽しみにしています！



▲ニュースサイト  
(URL: [shorturl.at/cdfnu](https://shorturl.at/cdfnu))